

図書館だより

秋田大学附属図書館
年3回刊行(4月・7月・12月)



目次

- P.1 大学図書館と情報リテラシー教育 山田正行
P.2 シリーズ 心に残る一冊(12) 長谷部真木子
P.3 図書館(本館)ホームページ案内
第3回 資料探索と論文作成法
P.4~7
UnCover検索
P.8~14
分館アンケート調査結果報告(抜粋)
P.15 本学教官等著作寄贈図書
「学外文献申込み」受付の休止
P.16 トピックス・お知らせ
グループ学習室の新設
留学生コーナーにパソコン設置
リクエストボックスの活用
冬季休業中の開館時間、貸出冊数等

大学図書館と情報リテラシー教育

山田正行

コンピュータの大衆化と高度通信技術の発展により、情報伝達は格段の発展を遂げてきている。それは、一方向的、あるいは双方向的な伝達だけでなく、多数が多数と複雑に交信しあえるネットワークの形成にまで至っている。インターネットによる高度情報社会の成立である。

この状況において、図書館には様々な課題が提起されている。情報リテラシーはその一つである。一般にリテラシーは基礎的な読み書き計算を意味しており、識字と訳されている。そして、これに情報を付けた情報リテラシーは、パソコンによって情報を収集、整理、選択、活用するための基礎的な能力と

して捉えられ、これが高度情報社会における図書館活動では重要になってきている。

まず、利用者にとってパソコンが活用できれば

検索が容易になる。書棚をぶらぶら歩いて思いがけなく最適な本と出会うことも確かに大切であるが、一定の目的に従って効率的に学習するためには、図書館情報ネットワークを通じた検索が有効である。

次に、図書館職員にとっては利用者に対する情報提供や相談活動において、情報リテラシーを基礎に



した、より高度の情報活用能力が求められる。利用者の要求や質問に対応するためには、パソコンを操作するだけでなく、図書館の制度、システム、機能などについても理解する必要があり、そこでは、図書館職員としての専門性が求められる。さらに、焚書や検閲の歴史を振り返るならば、利用者のプライバシーや人権を守り、図書館の自由についての見識を備えることも重要である。

そして、この理解を踏まえ、最後に本学附属図書館の大学図書館としての課題について述べる。これまでも、大学教育にふさわしい情報リテラシーの教育が進められ、情報関連の授業が多数開講されてきている。他方、改革の結果、司書資格を取得するカリキュラムが整備されるようになった。従って、情報教育と図書館学教育とを連結させる条件が整った

ことになる。

現在、附属図書館機能検討専門委員会ワーキンググループでは、新しく図書館情報学という情報リテラシーのための授業を開講すべく検討を進めている。その内容としては、学術情報全般についての概括的理解に基づきレポートや卒論作成に必要な図書館情報活用能力を習得することを計画している。また、授業では教官だけでなく、図書館の専門スタッフとの連携により実践的指導の充実も計られている。そして、これにより、大学図書館と図書館情報教育とが相互に発展することが期待される。

(やまだ まさゆき 教育文化学部教育学講座教授)

似顔絵は教育学部美術科卒業生



みんなうんち

五味太郎 さく 福音館書店 1977年 780円



長谷部 真木子

この本を書店で見つけた時のドキッは今でも忘れられない。タイトルを見た瞬間、表紙を見た瞬間、何かわくわくした。早く内容も見てみたい。

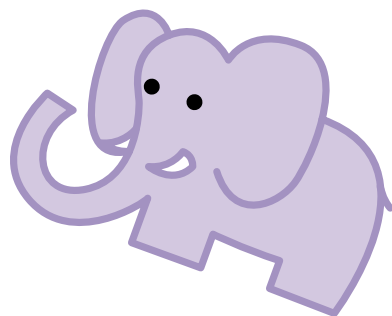
「おおきいぞうはおおきいうんち ちいさいねずみはちいさいうんち」文字の通りに大きい象と小さいネズミがうんちと共に描かれている。その後魚、鳥、虫、が登場し、「いろんないろ、いろんなかたち、いろんなにおい」と続く。蛇やクジラはどんなの?と疑問を投げかけられ、更にいよいよ人間登場。人間は赤ちゃんから大人までいろんなスタイル。動物もいろんなスタイル。後始末をしたり、知らん顔したり。最後は「いきものはたべるから」と食事風景のページをめくると「みんなうんちを

するんだね。」のお尻がずらり。

単調な言葉と絵だけの本だけど、中身は濃い。子どもから大人まで、世界中で楽しめる本だと思う。一度、読んでみませんか。

(はせべ まきこ

医療技術短期大学部看護学科講師)



図書館(本館) ホームページ案内 第3回

[<http://www.akita-u.ac.jp/ktakalib/>]

前回案内の“学術サイト”はいかがでしたか？ どれかお試しになりましたか？

たくさんの有益なサイトにリンクされていますから、興味あるサイトにアクセスしてみましょう。

今回はレポートや論文作成の際、役に立つ資料の探し方や論文作法をまとめた“資料探索と論文作成法”を紹介いたします。

一部工事中(?)ですが、とても密度の濃い内容になっています。

ぜひ活用ください。

(トップページのcontentsメニューから入ってください)

資料探索と論文作成法

秋田大学附属図書館をご利用の皆さまのために資料や情報を探す方法・論文の書き方に役立つ情報を掲載しています。

一部は冊子にして図書館レファレンスカウンターでお配りしています。

資料の探し方

図書	雑誌論文	新聞
人物情報	機関情報	統計情報
江戸以前の本		

分野別のツール紹介

化学

レポート・文作成のために

論文作法と作成手順	論文作法を知るための図書リスト	分野別図書リスト
-----------	-----------------	----------

home



参考調査係

UnCover検索について

1. UnCoverとは？

1988年秋以降の、あらゆる分野にわたる約18,000タイトルの学術雑誌の目次情報を集録したデータベースです。

2. UnCoverでできることは？

外国論文を、キーワード、著者名で検索できます。また、雑誌の目次を見ることもできます。目次は過去の分も遡って見る事ができるので、とても便利です。

目次情報の検索や閲覧は、誰でも無料でできます。(雑誌の目次の見方はp.6をご覧ください。)

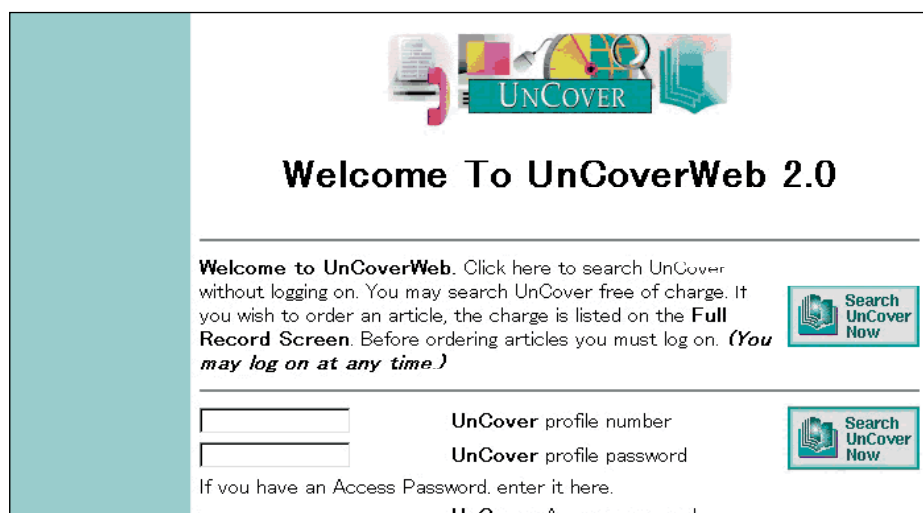
3. UnCoverのURLは？ <http://uncweb.carl.org/>

4. 検索の流れ

- (1) UnCoverのトップページにアクセス。
- (2) 左上の[Search UnCover]をクリック。



- (3) 右上の[Search UnCover Now]をクリック。(Profile Number等は入れなくてよい)



- (4) Search UnCover画面になるので、中央の四角のBoxに検索語を入れ、SearchType, Yearを選択して[Search] ボタンをクリック、またはEnterキーを押します。

- (5) 検索結果が簡略表示されます。論題をクリックすると詳細が表示されます。

5. 検索語の入力方法

(1) ブール演算

AND検索 キーワード and キーワード (andは省略可)

OR検索 キーワード or キーワード

()で演算式を作ることができます。

例: mountain and (bicycling or biking)

(2) 前方一致検索

キーワードの後ろに*をつけます。

例: adolescen*とすると、adolescence, adolescentなどが検索されます。

6. 雑誌の目次の見方

- (1) Search Typeは[Journal Title Browse]にします。四角のBoxに雑誌名を入れますが、誌名中の the, in, and などの冠詞、前置詞、接続詞も正確に入力します。

UNCOVER

Log in • Help • New Search • UnCover Reveal • UnCover Reports • Exit

Search UnCover

You may select either UnCover or UnCover Express:

[UnCover](#)
Description: Index to journal contents; over 4000 citations added daily

Enter search term(s) and click "Search"

Choose search type: Keyword Author or name Journal Title Browse
 Search all indexes

Date Limit Options: (For Keyword and Author/name Searches Only.)

All Years
 Limited by date-

- (2) ヒットした雑誌リストの中から該当する雑誌を選択してクリック。

Journal Title List

Records 1 - 10 of 10 in UnCover Search type: Journal Title Browse

Search was: american journal of cancer

Previous ◀ ▶ Next

[American journal of cancer](#)

[American journal of cardiac imaging](#)

[American journal of cardiology](#)

[American journal of cardiovascular pathology](#)

- (3) 中の[Journal Issues]をクリック。

Full Journal Record

Record 1 of 10 in UnCover Search type: Journal Title Browse

Search was: american journal of cancer

Next ▶

Title: **Cancer** research
Publisher: Baltimore [etc.] Waverly Press [etc.]
Subjects: **Cancer** research Periodicals.
Serial
Neoplasms Periodicals.
Continues: American journal of cancer (OCoLC)148012?
American journal of cancer (OCoLC)148012?

The publisher of this journal allows faxing of articles.

(4) 刊行年月日・巻・号のリストが出るので、見たい巻号をクリック。

Journal Issues

Journal Title: Cancer research
Search was: american journal of cancer

1999 Search

	Issue number	Status	Content
1.	11/15/1999 v59 n22	Expected	Not present
2.	11/01/1999 v59 n21	Published	Present
3.	10/15/1999 v59 n20	Published	Present
4.	10/01/1999 v59 n19	Published	Present
5.	09/15/1999 v59 n18	Published	Present
6.	09/01/1999 v59 n17	Published	Present
7.	08/15/1999 v59 n16	Published	Present
8.	08/01/1999 v59 n15	Published	Present

(5) その巻の目次が出ます。詳細を見たい論文をクリック。

Table of Contents

Journal Title: Cancer research
Search was: american journal of cancer
Check-in date: 10/28/1999

Author	Title	Page
1. Niu, Guilian	Gene Therapy with Dominant-negative Stat3 Suppresses Growth of the Murine Melanoma B16 Tumor in Vivo	5059
2. Sjogren, Helene	Fusion of the EWS-related Gene TAF2N to TEC in E	5064
3. Zanocco-Marani, Tomm	Biological Activities and Signaling Pathways of	5331
4. Kolodner, Richard D.	Germ-line msh6 Mutations in Colorectal Cancer	5068
5. Ma, Yuliang	Microinjection of Anti-p21 Antibodies Induces	5341
6. Yam, Cain H.	MDM2 and MDMX Inhibit the Transcriptional	5075

(6) 論文に関する情報が表示されます。

Full Article Record

Database: UnCover
Search type: Journal Title Browse
Search was: american journal of cancer

Title: Gene Therapy with Dominant-negative Stat3 Suppresses Growth of the Murine Melanoma B16 Tumor in Vivo

Author(s): [Niu, Guilian](#), [Heller, Richard](#), [Yu, Hua](#)

Journal: Cancer research.

Info
OCT 15 1999 v 59 n 20
5059
SICI0008-5472(199910)59:20L:5059:GTWD;1

Pricing: This article may be available in your library at no cost to you. To have it delivered from **UnCover** the following charges apply

分館アンケート調査結果報告（抜粋）

（この報告書は4月に発表し、各講座等に配布済みのものです）

平成10年12月に医学部分館の利用者を対象とした、分館利用に関するアンケート調査を行ないましたが、その結果がまとまりましたので報告いたします。

これらの貴重なデータを基に、図書館をより一層利用し易いように改善すべく、またまとめにもあるように各問題点を整理し、分析し対処するよう努力いたしますとともに、貴重なご意見は今後の指針に役立たせていただきます。

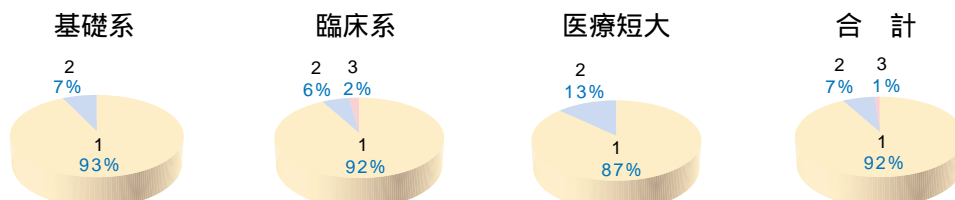
* 配布数、回答者数、回収率

	医学部教職員、院生等	医学部学生（1～6年）	短大教職員	短大学生
配布数	455名	616名	40名	366名
回答者数	218名	147名	23名	271名
回収率	47.9%	23.9%	57.5%	74.0%

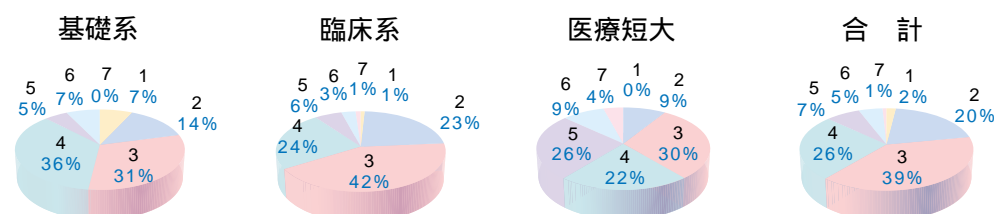
* 回答者数は、医学部教職員等は「基礎系」と「臨床系」に分けてあります。
個々の回答数は複数の回答もあるので必ずしも回答者数と合いません。

教職員

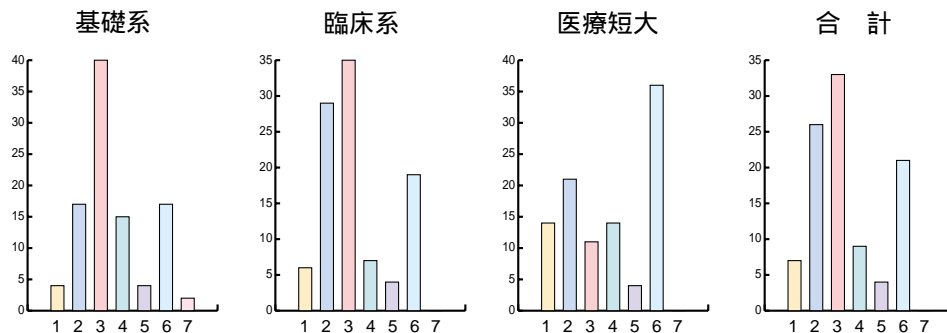
Q1 開館時間	基礎系	臨床系	医療短大	合計
1 今のままでよい	39名(93%)	163名(92%)	20名(87%)	222名(92%)
2 変更してほしい	3名(7%)	10名(6%)	3名(13%)	16名(7%)
3 無回答	0名(0%)	3名(2%)	0名(0%)	3名(1%)
合計	42名	176名	23名	241名



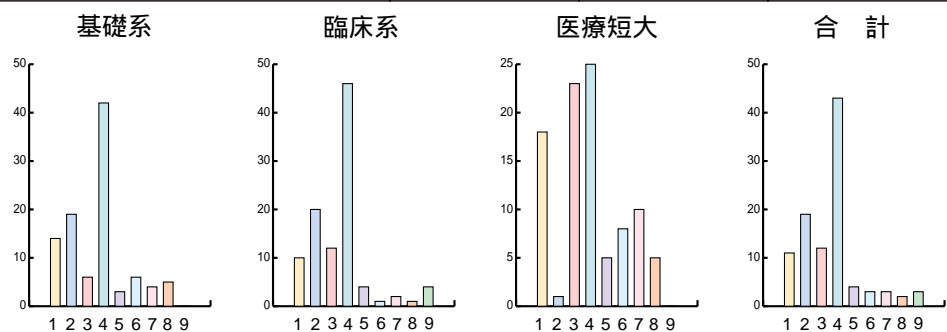
Q2 利用頻度	基礎系	臨床系	医療短大	合計
1 ほとんど毎日	3名(7%)	1名(1%)	0名(0%)	4名(2%)
2 週2～3回	6名(14%)	41名(23%)	2名(9%)	49名(20%)
3 週1回程度	13名(31%)	75名(42%)	7名(30%)	95名(39%)
4 月2～3回	15名(36%)	42名(24%)	5名(22%)	62名(26%)
5 月1回	2名(5%)	10名(6%)	6名(26%)	18名(7%)
6 年数回	3名(7%)	6名(3%)	2名(9%)	11名(5%)
7 無回答	0名(0%)	1名(1%)	1名(4%)	2名(1%)
合計	42名	176名	23名	241名



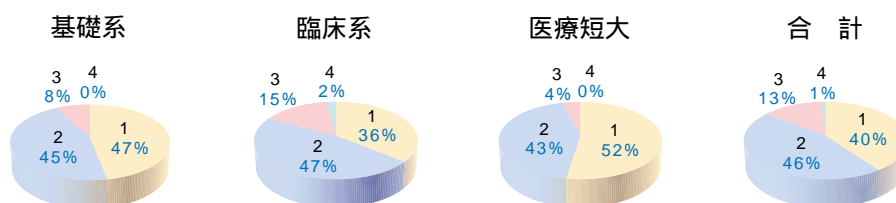
Q3 図書資料の入手状況(複数回答)		基礎系	臨床系	医療短大	合計
1	ほとんど入手できる	2名(4%)	13名(6%)	4名(14%)	19名(7%)
2	7割程度	8名(17%)	59名(29%)	6名(21%)	73名(26%)
3	半分位	19名(40%)	72名(35%)	3名(11%)	94名(33%)
4	3割位	7名(15%)	15名(7%)	4名(14%)	26名(9%)
5	ほとんど入手できない	2名(4%)	8名(4%)	1名(4%)	11名(4%)
6	学外へのオーダーで入手できている	8名(17%)	40名(19%)	10名(36%)	58名(21%)
7	無回答	1名(2%)	0名(0%)	0名(0%)	1名(0%)
合計		47名	207名	28名	282名



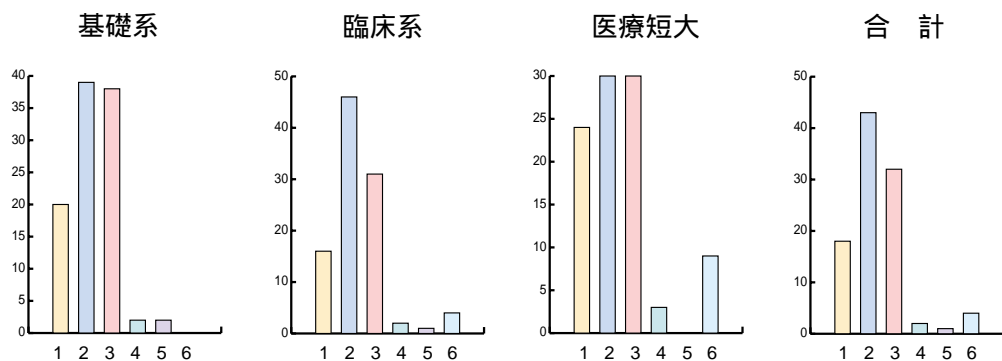
Q4 図書館の資料で不足しているもの(複数回答)		基礎系	臨床系	医療短大	合計
1	和書	11名(14%)	29名(10%)	7名(18%)	47名(11%)
2	洋書	15名(19%)	59名(20%)	3名(1%)	77名(19%)
3	和雑誌	5名(6%)	36名(12%)	9名(23%)	50名(12%)
4	洋雑誌	32名(42%)	136名(46%)	10名(25%)	178名(43%)
5	参考書	2名(3%)	13名(4%)	2名(5%)	17名(4%)
6	二次資料	5名(6%)	4名(1%)	3名(8%)	12名(3%)
7	AV資料	3名(4%)	5名(2%)	4名(10%)	12名(3%)
8	その他	4名(5%)	3名(1%)	2名(5%)	9名(2%)
9	無回答	0名(0%)	11名(4%)	0名(0%)	11名(3%)
合計		77名	296名	40名	413名



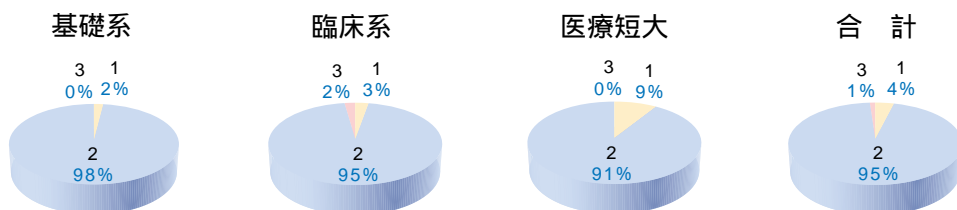
Q5 学内蔵書検索(OPAC)		基礎系	臨床系	医療短大	合計
1	利用したことがある	18名(47%)	64名(36%)	12名(52%)	94名(40%)
2	知っているが利用したことがない	17名(45%)	83名(47%)	10名(43%)	110名(46%)
3	知らなかった	3名(8%)	26名(15%)	1名(4%)	30名(13%)
4	無回答	0名(0%)	3名(2%)	0名(0%)	3名(1%)
合計		38名	176名	23名	237名



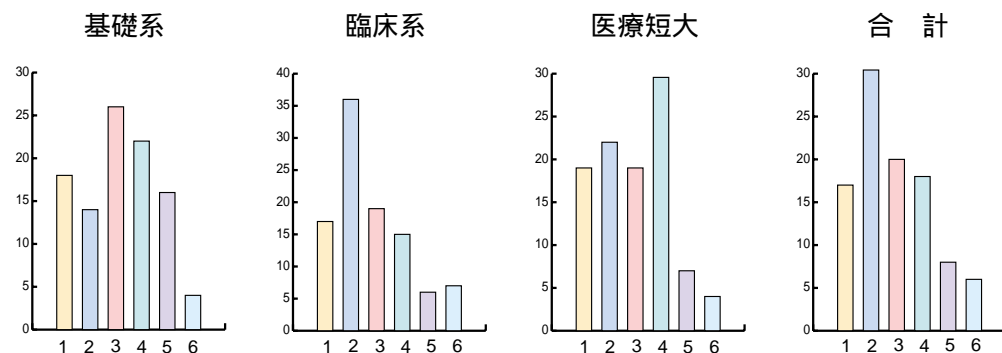
Q6 分館の質的向上のためにすること(複数回答)		基礎系	臨床系	医療短大	合計
1	図書の充実	11名(20%)	39名(16%)	8名(24%)	58名(18%)
2	雑誌の充実	22名(39%)	109名(46%)	10名(30%)	141名(43%)
3	情報検索の充実	21名(38%)	73名(31%)	10名(30%)	104名(32%)
4	設備の充実	1名(2%)	5名(2%)	1名(3%)	7名(2%)
5	その他	1名(2%)	3名(1%)	0名(0%)	4名(1%)
6	無回答	0名(0%)	9名(4%)	3名(9%)	12名(4%)
合計		56名	238名	32名	326名



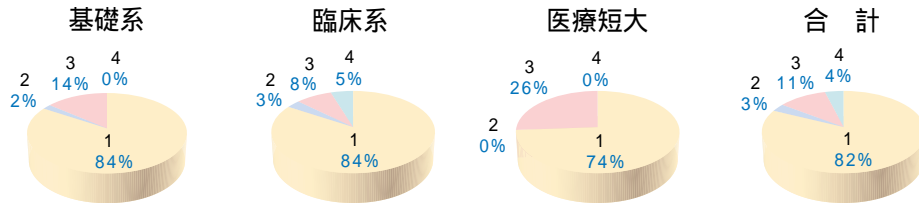
Q7 研究個室		基礎系	臨床系	医療短大	合計
1	よく利用する	1名(2%)	6名(3%)	2名(9%)	9名(4%)
2	利用したことがない	41名(98%)	168名(95%)	21名(91%)	230名(95%)
3	無回答	0名(0%)	3名(2%)	0名(0%)	3名(1%)
合計		42名	177名	23名	242名



Q8 外国雑誌の価格高騰への対応		基礎系	臨床系	医療短大	合計
1	コア雑誌を見直して減らすしかない	9名(18%)	32名(17%)	5名(19%)	46名(17%)
2	講座負担額が増えても現有的コア雑誌を継続購読	7名(14%)	69名(36%)	6名(22%)	82名(31%)
3	LAN対応のADONISを導入し、ADONISでカバーできる雑誌は取らない	13名(26%)	36名(19%)	5名(19%)	54名(20%)
4	LAN対応でカレントコンテンツと学外文献請求	11名(22%)	29名(15%)	8名(29%)	48名(18%)
5	その他	8名(16%)	12名(6%)	2名(7%)	22名(8%)
6	無回答	2名(4%)	14名(7%)	1名(4%)	17名(6%)
合計		50名	192名	27名	269名

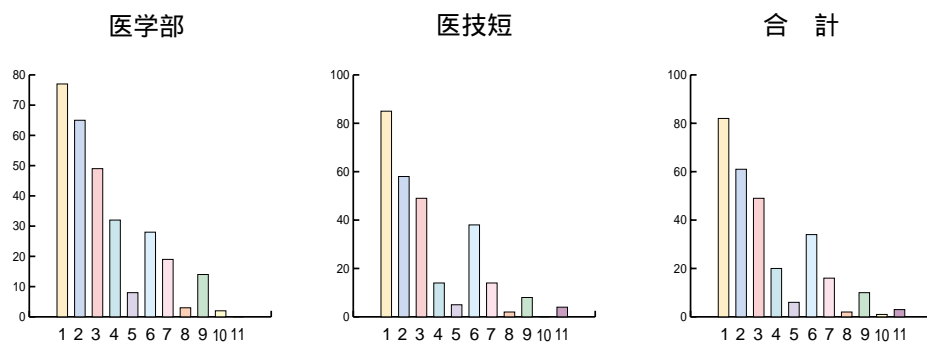


Q9 館外貸出しの冊数、期間(現行:5冊まで、図書10日雑誌7日以内)		基礎系	臨床系	医療短大	合計
1	適当である	36名(84%)	147名(84%)	17名(74%)	200名(82%)
2	もう少し多く貸し出してほしい	1名(2%)	6名(3%)	0名(0%)	7名(3%)
3	期間を長くしてほしい	6名(14%)	14名(8%)	6名(26%)	26名(11%)
4	無回答	0名(0%)	9名(5%)	0名(0%)	9名(4%)
合計		43名	176名	23名	242名

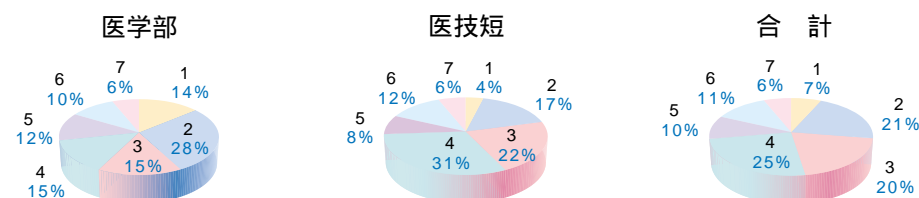


学生

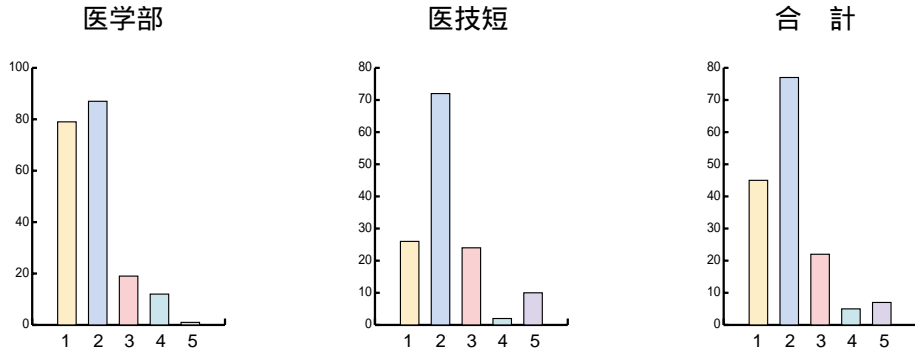
Q1 利用目的(複数回答)		医学部	医技短	合計
1	図書館の資料を利用してのレポートの作成など	111名(77%)	230名(85%)	341名(82%)
2	専ら勉強(試験準備や自学自習)する場所として利用	94名(65%)	159名(58%)	253名(61%)
3	講義や授業に関係した資料を調べる	71名(49%)	133名(49%)	204名(49%)
4	新聞を読む	47名(32%)	37名(14%)	84名(20%)
5	教養や趣味などの資料を調べる	11名(8%)	13名(5%)	24名(6%)
6	文献複写をする	41名(28%)	102名(38%)	143名(34%)
7	CD-ROMを使って文献検索をする	28名(19%)	37名(14%)	65名(16%)
8	視聴覚資料を利用する	4名(3%)	5名(2%)	9名(2%)
9	空き時間などの暇つぶし	21名(14%)	22名(8%)	43名(10%)
10	その他	3名(2%)	0名(0%)	3名(1%)
11	無回答	0名(0%)	12名(4%)	12名(3%)
合計		431名	750名	1181名



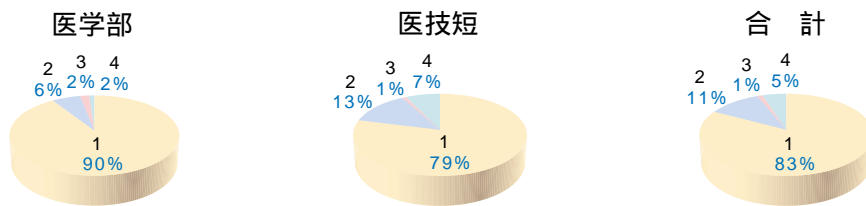
Q2 利用頻度		医学部	医技短	合計
1	ほとんど毎日	20名(14%)	11名(4%)	31名(7%)
2	週2~3回	41名(28%)	45名(17%)	86名(21%)
3	週1回程度	22名(15%)	60名(22%)	82名(20%)
4	月2~3回	21名(15%)	85名(31%)	106名(25%)
5	月1回	18名(12%)	23名(8%)	41名(10%)
6	年数回	15名(10%)	33名(12%)	48名(11%)
7	無回答	8名(6%)	15名(6%)	23名(6%)
合計		145名	272名	417名



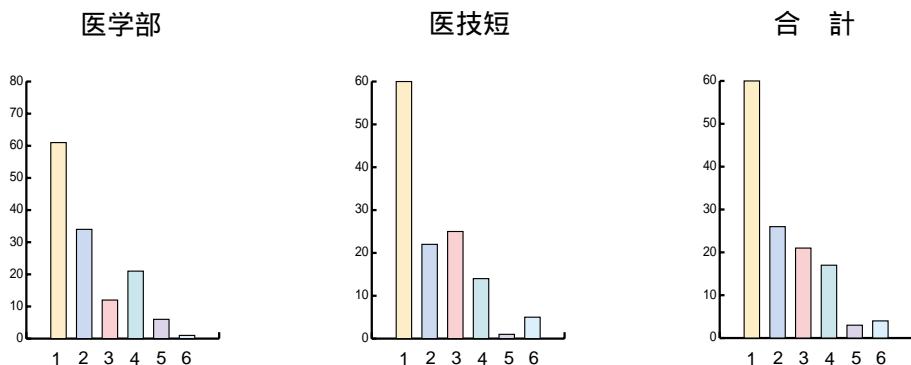
Q3 開館時間(複数回答)		医学部	医技短	合計
1	もっと遅くまで開館して欲しい	115名(79%)	72名(26%)	187名(45%)
2	土曜日遅くまで開館して欲しい	126名(87%)	197名(72%)	323名(77%)
3	現状でよい	27名(19%)	64名(24%)	91名(22%)
4	その他	17名(12%)	5名(2%)	22名(5%)
5	無回答	1名(1%)	27名(10%)	28名(7%)
合 計		286名	365名	651名



Q4 日曜日の開館		医学部	医技短	合計
1	開館して欲しい	131名(90%)	214名(79%)	345名(83%)
2	その必要はない	9名(6%)	36名(13%)	45名(11%)
3	その他	3名(2%)	3名(1%)	6名(1%)
4	無回答	2名(2%)	19名(7%)	21名(5%)
合 計		145名	272名	417名

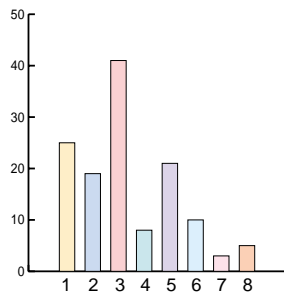


Q5 館外貸し出し(複数回答) 現行: 2冊10日間		医学部	医技短	合計
1	2冊では少ないので、もっと増やして欲しい	88名(61%)	162名(60%)	250名(60%)
2	10日間では短いので、長くして欲しい	49名(34%)	60名(22%)	109名(26%)
3	雑誌も貸し出しして欲しい	18名(12%)	69名(25%)	87名(21%)
4	現状でよい	30名(21%)	39名(14%)	69名(17%)
5	その他	8名(6%)	4名(1%)	12名(3%)
6	無回答	1名(1%)	14名(5%)	15名(4%)
合 計		194名	348名	542名

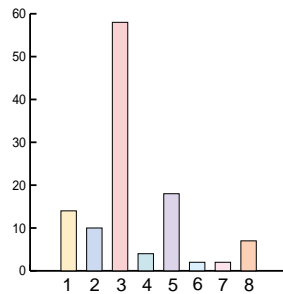


Q6 情報検索(複数回答)		医学部	医技短	合計
1	学内に所属している資料を検索するOPACのコンピュータの台数が少ない	36名(25%)	38名(14%)	74名(18%)
2	医学中央雑誌等の情報を検索するコンピュータの台数が少ない	27名(19%)	26名(10%)	53名(13%)
3	使い方がよく分からない	59名(41%)	159名(58%)	218名(52%)
4	情報検索のCD-ROM(ソフト)が少ない	12名(8%)	10名(4%)	22名(5%)
5	現状で十分である	31名(21%)	49名(18%)	80名(19%)
6	医師国家試験の練習ソフトが少ない	15名(10%)	5名(2%)	20名(5%)
7	その他	4名(3%)	5名(2%)	9名(2%)
8	無回答	7名(5%)	18名(7%)	25名(6%)
合 計		191名	310名	501名

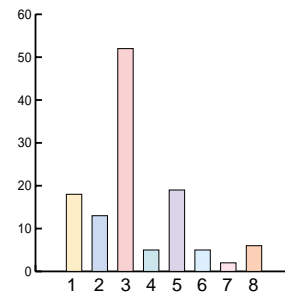
医学部



医技短

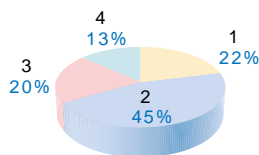


合 計

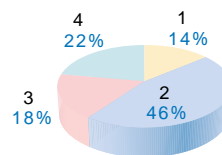


Q7 視聴覚資料		医学部	医技短	合計
1	見たい、聴きたいビデオやCDがない	29名(22%)	34名(14%)	63名(17%)
2	現状で概ね満足	61名(45%)	110名(46%)	171名(46%)
3	その他	27名(20%)	43名(18%)	70名(18%)
4	無回答	18名(13%)	53名(22%)	71名(19%)
合 計		135名	240名	375名

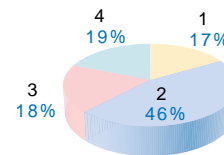
医学部



医技短

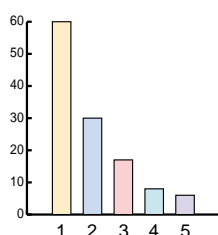


合 計

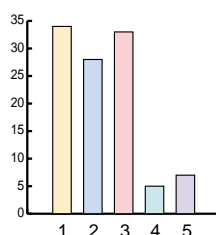


Q8 図書(複数回答)		医学部	医技短	合計
1	見たい図書がない。特に(1)和図書(2)洋図書	87名(60%)	92名(34%)	179名(43%)
2	同じ図書を増やして欲しい。特に(1)和図書(2)洋図書	44名(30%)	77名(28%)	121名(29%)
3	現状で十分である	25名(17%)	89名(33%)	114名(27%)
4	その他	12名(8%)	13名(5%)	25名(6%)
5	無回答	9名(6%)	19名(7%)	28名(7%)
合 計		177名	290名	467名

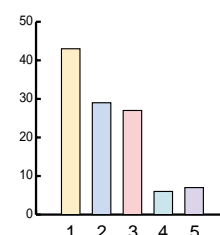
医学部



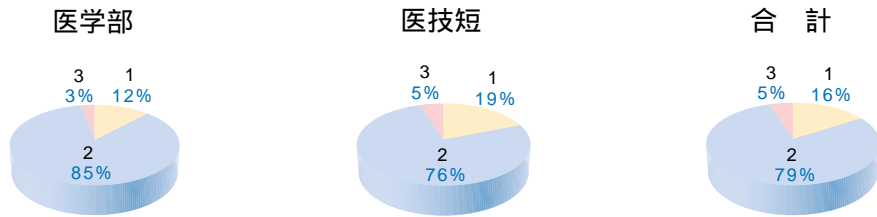
医技短



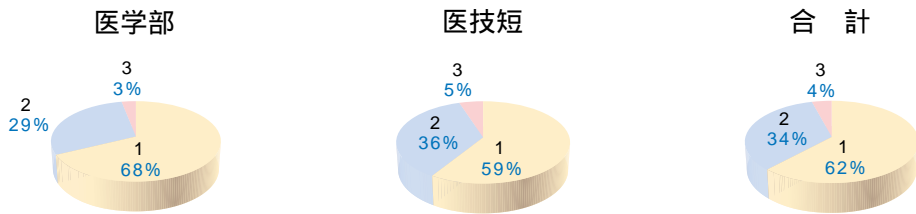
合 計



Q9 視聴覚室を利用したことが		医学部	医技短	合計
1	ある	17名(12%)	51名(19%)	68名(16%)
2	ない	123名(85%)	208名(76%)	331名(79%)
3	無回答	5名(3%)	14名(5%)	19名(5%)
合 計		145名	273名	418名



Q10 OPAQ 学内蔵書検索)を利用したことが		医学部	医技短	合計
1	ある	99名(68%)	160名(59%)	259名(62%)
2	ない	42名(29%)	98名(36%)	140名(34%)
3	無回答	4名(3%)	14名(5%)	18名(4%)
合 計		145名	272名	417名



ま と め

今回のアンケートで明らかになったことを総括すると以下の通りである。

1. 教職員(大学院生、研修医等を含む)へのアンケート

- 1) 分館で特に不足している資料は洋雑誌。この充実がもとめられる。
- 2) ADONISは知っていても利用したことがない人が多い。理由は様々。
- 3) 研究個室、視聴覚室の利用者は少ない。
- 4) 外国雑誌の高騰に対する対処方法として、LAN対応でADONISやカレントコンテンツを利用(多分電子ジャーナルの導入も含めて)、雑誌不足をカバーするとの意見も多いが、講座負担額が例え増えても現有のコア誌を継続購読したいとの意見も多い。
- 5) 分館の利用時に不便なことの上位三つは、(1)雑誌が少ない(22人)、(2)事務棟からの連絡通路が冬季は寒いので改善して欲しい(6人)、(3)情報検索室の機器が少ない、雑誌の所在がわかりにくい、コピー機が足りない(以上各5人)
- 6) 分館のホームページについての希望は、インターネットで文献の検索、依頼、送信等ができれば有り難い(4人)
- 7) 分館の将来像として望まれることの上位三つは、インターネットで情報を提供すること(9人)、新刊書籍の充実を(4人)、分館を質、量ともに充実させること(3人)

2. 医学部、医療短大の学生へのアンケート

- 1) 平日午後9時~10時、土曜日は午後8時くらいまで開館して欲しい。
- 2) 日曜日の開館希望が多い。
- 3) 館外貸出しの冊数と日数を増やして欲しい(現行：2冊、10日)
- 4) 和図書が少ない。また、複本購入希望が多い。
- 5) 閲覧室の座席数が足りない。
- 6) 視聴覚室の利用が少ない。
- 7) 分館に対する希望は、
 - (1) 図書、雑誌関係：① 新版本の購入(古い版が多い)、欠号補充。② 資料の集中管理。③ 資料の配架が悪く探しにくい。
 - (2) 設備：① 広い机が欲しい。② コピー機の増設。③ 机にスタンドが欲しい。④ スマートグループで勉強するための部屋が欲しい。⑤ 自販機の設置。等
 - (3) マナー：① 雑談が多い。② PHS等の禁止。③ 飲食可能な席の設置。

以上のことから、分館で直ちに対応可能な要望については早急に改善に努めるとともに、平日と土曜日の開館時間延長や日曜日の開館等、予算措置が必要なものについては本館を通して改善を図っていく必要がある。また、外国雑誌の高騰に伴う雑誌の減少に今後いかに対処していくかは分館の最大課題の一つであり、これも分館だけでなく秋田大学附属図書館全体として電子ジャーナルの導入を積極的に考慮する必要がある。また、コンソーシアムを作った電子ジャーナル購読あるいは雑誌の分担収集については、日本医学図書館協会や東北地区医学図書館協議会と連携を図りつつ、多角的に対応策を検討していく必要がある。

研究個室、視聴覚室等は設置されたものの利用者が少ないので、今後利用されていない理由を検討するとともに、分館としてこれらの利用者拡大に努力する必要がある。今後分館は利用者にとってより便利で、医学教育や研究の推進に真に役立つ図書館となるため、利用者のニーズを常に考え、むしろそれを先取りする形で充実に努める必要がある。

本学教官等著作寄贈図書

本学教官等が著し、寄贈を受けたものです。ありがとうございます。

図書館では今後も本学教官の著作物(単独著書、共著書、編著書、訳書、分担執筆、学位論文)を積極的に収集し、利用に供する方針ですので出版の折にはご寄贈くださるようお願いいたします。

山田 孝 監訳	人間作業モデル：理論と応用（改訂第2版）/Gary Kielhofner編著	協同医書出版社	1999
茆原 順一 著	ロイコトリエンと気管支喘息・アレルギー	医薬ジャーナル社	1999
小賀野晶一 編	人口法学のすすめ	信山社	1999
小向 敏彦 共著	電力システム工学	丸善	1999
前多 豊吉先生 追悼の書発行事務局	前多豊吉先生	同発行事務局	1999

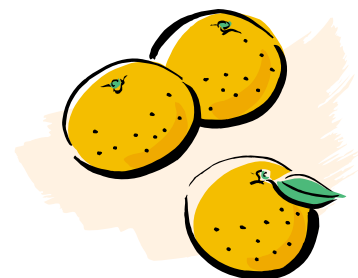
「学外文献申込み」受付の休止について

学術情報センターのシステム休止にともない、今年の学外文献複写・現物借用の受付を12月15日(水)で締め切ります。

来年の受付は1月7日(金)からとなりますので、お早めにお申し込みください。

なお、ご不明の点は下記までお問い合わせください。

本 館 参考調査係 内線 2275
医学部分館 図 書 係 内線 3293



とびっくす

図書館2Fの「グループ学習室」をご存知ですか？

原則として5人以上10人まで、学習目的に限り利用可能です。

利用時間は最大2時間です。(閉館15分前まで) 申込みは閲覧カウンターへどうぞ。

留学生コーナー(2F閲覧室内)に「パソコン」を設置しました。

文書作成・統計処理などができます。(インターネットは出来ません。)

申込みは不要です。留学生の皆さん、ご自由にお使いください。

「リクエストボックス」を活用してください。

学習、研究に必要な図書で、図書館に備付けて欲しい場合はリクエストしてください。リクエストボックスは玄関ホールと2階閲覧室に設置しています。

図書館だより(今号から)が図書館ホームページで公開の予定です。

<http://www.akita-u.ac.jp/ktakalib/>



お知らせ

< 冬季休業期間の開館時間等について >

	【本館】	【医学部分館】
期間	12/26～1/15	12/26～1/4
開館時間	平日 8:45～17:00	8:45～17:00
	土曜日 休館	休館
	日・祝日 休館	休館
	12/28～1/4 休館	休館
長期貸出開始日	12/13(月)から	12/6(月)から
返却期限日	1/21(金)	1/19(水)
貸出冊数	学部学生 5冊	2冊
	院生 10冊	5冊

* 分館の夜間開館は1月5日(水)から始めます。(本館は冬季休業明けより開始)

卒業予定のみなさんへ

利用者カードの有効期限は2/29です。院生は3/15まで伸ばすことができます。

延長希望する方は閲覧カウンターまでどうぞ。

借用している図書は卒業の前に忘れずに返却して下さい。

編集後記

1999年もあと一ヶ月。

今年は皆さんにとってどんな1年でしたか？来年も図書館を大いにご利用くださいますように宜しくお願いします。

職員一同

図書館だより 第46号 1999年12月1日発行

編集 図書館出版物編集委員会

発行 秋田大学附属図書館

TEL 本館 018-889-2279 分館 018-884-6052

FAX 本館 018-832-4917 分館 018-884-6252

E-mail...etsuran@libra.alis.akita-u.ac.jp